

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 2024 年度(令和6年)事業計画

総括

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 増田 詩織

本会の会員は、その多くが医療施設で勤務する臨床検査技師で、昨年には 4,000 名を超える会員数となりました。新型コロナウイルス感染の影響も5類扱いとなり、社会活動の制限が緩まりつつある中、本会の事業もコロナ以前の活動状況に向け再開されています。しかし、会員が所属する多くの医療施設は、診療ならびに経営面で厳しい状況が続いており、われわれも感染拡大時の経験を踏まえ、目前にある課題に取り組んでいます。また働き方改革については、医師・看護師の業務を支援し、他職種と連携をとりながら、われわれ臨床検査技師の働き方を見直し、今後の高齢化・少子化・人口減少社会においても、臨床検査の品質と精度を保証する業務を維持できるように、会員各自の自己研鑽ならびに施設を跨いで本会の活動を行っております。

2021 年度からは Web を使用したオンラインによる会議や授業・講演会の開催が行われ定着しました。理事会や事務局・事業局の部会会議は Web 会議システムを併用して情報の共有を図りながら、オンラインによる事業開催も取り入れ、例年通り企画された講演会等を開催することができました。一方、他団体との共催で対面形式の開催が主となる府民参加型の講習会や新年互礼会も、十分に感染拡大防止に対処しながら開催できました。

2022 年度は、5月に第 71 回日本医学検査学会をハイブリッド開催し、全国から来阪する参加者の皆様の期待に添える大阪らしい特色を出せる学会を開催しました。その後も新型コロナウイルスの感染蔓延化により Web での開催が主となりましたが、社会状況を見据え開催形式も対面形式を模索しながら事業を開催してきました。

2023 年度は、公益事業として府民を対象とする渉外部担当の府民公開講座や各種フォーラム(他団体との共催を含む)、各種疾患予防啓発活動、がん検診啓発活動、さらに地域に貢献するため各自自治体の健康展への参加を推進しました。

2024 年度も生涯教育を通して府民の健康に寄与する公益事業である学術部の各種研修会、チーム医療推進事業、精度管理部のデータ標準化事業も引き続き推進し、会員の求めるニーズに対応いたします。組織部が担当する検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会や一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会(日臨技)連携事業の地域ニューリーダー育成講習会、認知症対応力向上講習会など組織力向上のための事業や地区関連事業を開催します。新年互礼会(2025 年)で行政や関連団体と当会の緊密な連携を築き、地域医療推進協議会関連団体と協力し大阪府民の健康に寄与します。また 11 月に開催予定の令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第 63 回)に向け全力で取り組みます。2021 年度から開催しているタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の開催も 2024 年度は2か月に1回のペースで開催する予定です。

2023 年度(令和5年)第 11 回(2月)理事会および第 12 回(3月)理事会で承認された 2024 年度(令和6年度)事業計画・収支予算をご報告いたします

■ 事業分類

公1事業(公1)

府民に対して健康に関係する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業

公2事業(公2)

臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業

公3事業(公3)

臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

他1事業(他1)

会員の相互扶助等事業

I 基本計画

公益法人としての事業を積極的に進める

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進(公1)
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、看護の日、市民健康展、
がん検診啓発活動、その他の公益事業を行う
2. チーム医療の推進に貢献できる事業の開催(公2)
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養指導、その他、多職種がチームで医療を行う公益
事業を行う
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催(公2、他1)
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽
をする事業を行う
4. 精度保証事業(データ標準化を含む)の推進(公3)
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進める
5. 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援する(公2)
6. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業(公2)
教育機関の教員の方々と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う

II 事務局

1. 総務庶務部
 - 1) 組織運営の充実(他1、法人管理)
 - (1) 定款、諸規程等の管理
 - (2) 総会、理事会および各種委員会の開催
 - (3) 各種表彰の充実
 - (4) 各教育機関との連携
 - 2) 事務体制の強化(他1、法人管理)
 - (1) 会員管理システムの充実
 - (2) 大臨技会員証の管理
 - (3) 大臨技登録学生の管理
 - (4) 大阪府への各種報告
 - 3) 府民ならびに関連団体との交流の推進
 - (1) 府民への情報公開(他1、法人管理)
 - (2) 他団体との情報共有(公1 ~3、法人管理)
 - (3) 大阪府地域医療推進協議会への参画(他1、法人管理)
 - (4) 新年互礼会の開催および運営(他1)
2. 広報編集部
 - 1) 会員への広報の充実(他1)
 - (1) 大臨技ニュースの発行
 - (2) 大臨技ホームページの更新
 - (3) 月間行事予定表の作成
 - (4) 大臨技行事スケジューラーの管理

III 財務局

1. 財務管理の充実(他1、法人管理)

IV 事業局

1. 学術部

- 1) 公益事業としての部門別研修会・講演会の開催、これらの事業を円滑に開催するための部
会会議を開催(公1～3)
- 2) 他の事業部の企画への協力(公1～3)
- 3) 他団体(大阪府診療放射線技師会、大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護
協会等)との学術交流活動への協力(企画への参加、講師 推薦)(公1)
- 4) 学会の企画および運営(公2)
 - (1) 令和6年日臨技近畿支部医学検査学会(第63回)(2024年開催予定)の準備・企画
 - (2) 第8回大臨技医学検査学会の開催
- 5) その他(公2)

チーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画を支援

(1) 糖尿病療養指導部会

① 糖尿病療養指導定例勉強会

- ・糖尿病と療養指導に関する知識と技術を得るための講演およびグループディスカ
ッション

② 糖尿病療養指導士講演会

- ・多様化する糖尿病治療において糖尿病療養指導士の役割を考える

(2) ICT 部会

定期講習会

- ・感染症の基礎知識
- ・新型コロナウイルス感染対策についての講習会

(3) NST・褥創部会

- ・栄養療法・褥瘡の基礎を学ぶ

(4) 内視鏡検査部会

① 実技講習会

- ・内視鏡治療の講演・ハンズオンセミナー

② 定例勉強会(Web 配信含む)

- ・内視鏡・タスクシフトシェアの実践に向けて
- ・内視鏡治療の実際

2. 組織部

1) 会員相互の情報共有と交流強化

施設連絡責任者会(他1)、会員交流会(他1)

2) 地域ニューリーダー育成講習会(公2)

3) 地域オープンセミナーの開催(中央地区・南地区1回/年)(公2)

4) 新入会員研修(他1)

新入会員および未入会者を対象に技師会活動や臨床検査技師としての理解を深めるため
の研修会

5) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催(公2)

6) 大臨技教育セミナー(府下教育機関と共同事業)を開催(公2)

7) 健康展(吹田市)・健康まつり(摂津市)等への参加(公1)

8) 日臨技事業の地域展開

認知症対応力向上講習会(公2)

3. 渉外部

1) 府民参加型健康啓発事業の開催(公1)

(1) 他団体との共催事業: 講演会の開催

① 大臨技・大放技合同フォーラム

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

② 府民健康フォーラム

一般社団法人 大阪府薬剤師会、公益社団法人 大阪府栄養士会

(2) 他団体事業への参加

① 看護の日イベント

看護の日～ハートフル大阪21～実行委員会主催「看護の日・看護週間」事業に参加し、臨床検査技師や臨床検査について紹介する

② リレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪あさひ

公益財団法人 日本対がん協会主催事業で、がん検診の啓発を通して臨床検査技師の役割を紹介する

(3) 啓発活動

① 大臨技がんフォーラム: 「がん」に関する講演会の開催

② 疾患予防セミナー: 特定の疾患についての講演会を開催

(4) 全国「検査と健康展」(一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会主催)への参加

2) 障がい者に対する理解と協力(公2)

手話講習会・講演会を開催し、聴覚障がい者に対する理解を深め、簡単な手話を学ぶ

3) 献血推進への協力(他1)

輸血用血液の確保が困難な夏季と冬季に、府民の皆さんに献血への協力の呼びかけを行う

4. 精度管理部

1) 臨床検査データ標準化サーベイ(公3)

新鮮血を試料としたサーベイを実施することにより、施設間差是正を推進するとともに、精度保証に役立てる。

2) 大臨技統計セミナー(公2)

精度管理に関する正しい知識、技術を習得するための統計セミナー(8回シリーズ)の開催

2024年度収支予算書

2024年 4月 1日 から 2025年 3月31日まで

(公社)大阪府臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	-
会費収益	25,200,000	25,450,000	△ 250,000
事業収益	5,938,000	6,898,000	△ 960,000
受取補助金等	250,000	200,000	50,000
雑収益	920,000	920,000	-
経常収益計	32,309,000	33,469,000	△ 1,160,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,025,000	4,950,000	75,000
福利厚生費	847,500	825,000	22,500
旅費交通費	2,646,059	2,519,000	127,059
会議費	1,812,000	1,569,059	242,941
通信運搬費	1,233,726	1,367,726	△ 134,000
消耗品費	1,255,000	1,530,000	△ 275,000
印刷製本費	256,000	755,000	△ 499,000
光熱水費	175,000	175,000	-
会場費	4,689,000	6,369,000	△ 1,680,000
諸謝金	4,325,000	4,212,000	113,000
広報費	882,000	564,000	318,000
賃借料	3,255,000	2,472,000	783,000
支払負担金	300,000	300,000	-
減価償却費	620,000	720,000	△ 100,000
支払手数料	268,000	162,000	106,000
支払保険料	5,000	16,000	△ 11,000
雑費	349,000	211,000	138,000
管理費			
給料手当	1,675,000	1,650,000	25,000
福利厚生費	282,500	275,000	7,500
旅費交通費	322,941	235,000	87,941
会議費	592,000	677,941	△ 85,941
通信運搬費	982,274	207,274	775,000
消耗品費	455,000	455,000	-
印刷製本費	330,000	405,000	△ 75,000
光熱水費	75,000	75,000	-
会場費	50,000	50,000	-
諸謝金	276,000	276,000	-
広報費	80,000	80,000	-
賃借料	993,000	993,000	-
支払手数料	50,000	50,000	-
雑費	295,000	185,000	110,000
経常費用計	34,402,000	34,331,000	71,000
当期経常増減額	△ 2,093,000	△ 862,000	△ 1,231,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 2,093,000	△ 862,000	△ 1,231,000
一般正味財産期首残高	33,319,166	31,904,551	1,414,615
一般正味財産期末残高	31,226,166	31,042,551	183,615
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	31,226,166	31,042,551	183,615

